

としまPゼミ通信



としまPゼミ通信は、毎回の活動をまとめ、学びのふりかえりに役立てていただくことを目的に発行しているものです。早いもので12月26日(木)は今年度最終の月例会でした。



あらためてSDGを考えてみましょう

ふりかえり～各班の学習発表会の様子～

まずは12月8日(日)に行われた学習発表会のふりかえりからスタートです。当日の様子をまとめたスライドで各班の内容を確認していきしました。

次にPゼミの皆さんが出演した「としまTV 情報スクエア」の録画を視聴しました。11月28日放送分は、事務局よりとしまPゼミの説明後、Pゼミ代表の「白山通り」と「ご近所」班からお2人が、「活動で何を学んでいるか、参加しての感想や、学習発表会の意気込み」などを熱く視聴者に語ってくださいました！まるでアナウンサーのように流ちょうに話すお2人に感銘をうけました。



発表会当日の録画は「ななまるチャンネル」にまだ登録がなく、月例会では視聴できませんでした。郭先生や事務局、また出演くださったPゼミ代表「2クラス」「目白ボロネーゼ」「さかな」班の方々の生き生きとした当日の様子をご覧になれると思いますので、サイト <https://www.youtube.com/channel/UCmAZzVhGvFEBNI0KVC6tJBg> でぜひ確認してみてください。皆さんや一緒に参加していただいたご家族の協力で、より多くの方に来場いただき、としまPゼミの活動を知ってもらおう素晴らしい発表となりました。ありがとうございました。

発表会をふりかえったところで、グループごとに自身の班の「よかった点」「工夫が必要だった点」を話し合い、発表しました。

学習発表会でよかった点

- ★自発的に全員で参加できた。
- ★メンバー個人でアイデアを考えたので、多数の工作を紹介できた。
- ★選びやすいようにハギレをファイルに入れておいたことで、見やすく、風にも飛ばされなかった。
- ★全員が楽しめたこと！
- ★事前準備がよく滞りなくできた。
- ★子供が大活躍してくれた。

工夫が必要だった点

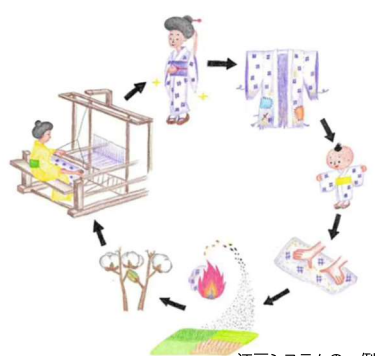
- ★地面がボコボコで作業機が安定しなかった。
- ★役割分担(ローテーション含め)についてもう少し話し合っておくべきだった。
- ★ワークショップの作業に追われ、掲示物やPゼミの活動であることをあまり説明できなかった。
- ★対応しきれず、来場者を断ってしまった。
- ★他の班を見に行けなかった。



郭先生からは、「600組の来場者ということは、その2、3倍の方が来てくださり、多くの人に SDGs や、としま P ゼミの存在・活動内容を知ってもらえた。校長・副校長先生方をはじめ多くの学校関係者が来てくださり、Pゼミのさらなる可能性を見出すことができた。皆さんの努力により、一過性の行事ではなく、学校や学童クラブで継続して、展示したり、使用したいなどの話があった。またPゼミでの横のつながりをきっかけに、豊島区の保護者が集まることで、大きな広がりを持つこともできる。」と発表会をふりかえってお話しくだしました。

あらためて SDGs を考えてみましょう

「SDGs とは途上国と先進国が一丸となって、2030年までに『誰一人取り残さない』社会を実現するもので、30年以降の新しい取組についても議論されているところです。月例会や発表会を通して、少しの意識・行動の変化で SDGs に貢献できると皆さんも実体験でわかりました。しかしながら、実は日本は昔から『江戸システム』という循環型の社会の考え方があったそうです。



江戸システムの一例
講師レジュメより引用

例えば、左図のように、江戸時代では着物を着用→傷むと乳幼児用に仕立て直し→古くなると雑巾にする→燃やす→灰になる→肥料として植物（綿花など）にまく→綿が育つ→糸を紡ぐ→織物にする→着物を作るといった具合です。欧米に比べ、排出物さえ、意識して利用する日本はかなり昔から SDGs 的な社会を作っていたのです。」

そして、複数の波線が描いてある絵を皆さんに掲示しました。一見するとそこに何が書いてあるのかわかりません…しかし、それを 180 度ひっくり返してみると、なんとそこには人の顔が現れます！そうすると次からは、不思議と波線は人の顔にしか見えなくなっていました。このことから、郭先生は「やっていることを上から見る、次は下から見る、斜めから見るなど発想を転換することが大切。この絵のように、ものの見方を少し変えるだけで、世の中がガラッと変わって見える。既成の価値観を変えるためにも柔軟な発想を持ってもらいたい。発想を転換することで多くのことができるようになる。SDGs も同じ。一人一人がやっていけば、地域が、国が変わっていく」とのお話がありました。

講座の最後には、「**知らないことの恐ろしさ、知ることの大切さ**」という言葉伝えてくださいました。「物事を知っていると、役に立つ場面がいつか出てくる。逆に知らないということは恐ろしい。フェイクニュースに忖度してしまうこともある。知ることは、勉強や経験を自分のものにしていくこと。知っていれば判断ができるし、世の中を変えていこうと行動ができる。知る努力を続けてもらいたい」と助言いただきました。

時にユーモアを交えた先生の講義は、終始としま P ゼミの皆さんに新たな気づきと豊かな学びの機会をつくってくださいました。郭先生、本当にありがとうございました。

〇〇〇最終回にご提出いただいた班の SDGsふりかえりシートです〇〇〇

グループ名 2クラス	グループ名 白山通り	グループ名 ご近所
「SDGsの実践」について これまでのPゼミの活動をふりかえる すでにやっていること・やってみたこと ○ お国産の残り湯を洗濯に利用する ○ スーパーで手取り取りを心がける ○	「SDGsの実践」について これまでのPゼミの活動をふりかえる すでにやっていること・やってみたこと ○ 地産地消 ○ 印刷（けい）、スキャナーを使う ○ エコマークの付いている商品を購入	「SDGsの実践」について これまでのPゼミの活動をふりかえる すでにやっていること・やってみたこと ○ 手取り取り ○ マイボトル持参 ○ ゴミの分別
やろうと困っていること・すぐできそうなこと ○ 園のリメイク ○ ペットボトルのキャップ下のリングを外す ○	やろうと困っていること・すぐできそうなこと ○ フードバンクに協力する ○ 通勤を自転車にする ○ コーヒーショップにマイボトル持参	やろうと困っていること・すぐできそうなこと ○ 服をリサイクルへ持っていく ○ 不用品のリサイクルイベントに積極的に参加する ○ SDGsに関するSNSをフォローして知識を得る
やったらおもしろいと思うこと ○ 廃材を使った工作をする ○ アクリルタワシを作る ○	やったらおもしろいと思うこと ○ スペアタイヤピグゼミふりかえり ○ ベンチ・ジグソーパズル等を買収 ○	やったらおもしろいと思うこと ○ Pゼミの活動内容を身近な人へシェアする ○ 発表の掲示物を各学校に展示してもらう ○

グループ名
白百合女子

SDGsの取り組みシート

「SDGsの実践」について これまでのPゼミの活動をふりかえる

すでにやっていること・やってみたこと

- ペットボトルを洗って捨てる
- ごみの分別
-

やろうと思っていること・すぐできそうなこと

- 新聞紙ごみ箱
- 防災スリッパ
-

やったらおもしろいと思うこと

- 再利用できそうなものはすぐに捨てない
-
-

グループ名
さかな

SDGsの取り組みシート

「SDGsの実践」について これまでのPゼミの活動をふりかえる

すでにやっていること・やってみたこと

- ギャップリサイクル
- 24パックでお買物
-

やろうと思っていること・すぐできそうなこと

- 洋服のリサイクル
- アクリルにわし作り
-

やったらおもしろいと思うこと

- 来年のクリスマスに水平リサイクルでオーナメントを作る
- ハギレのクリスマスカード
-





〇〇〇みなさんからのアンケートを一部ご紹介します〇〇〇

*原文ママ

4か月間の活動をした上での気づき

- 4ヶ月間とても楽しかったです。改めてSDGsについて学びきっかけにもなり、子供達への声かけも変わってきました。大人になってからの勉強はとても新鮮でした。
- 学習発表会も9月時点では面倒だと思っていましたが、やってよかったと心から思います。このような機会をいただけたことに感謝です。
- 講義では17の目標の中でその内の何か1つ実行するだけでそこから関連していくつもの目標が達成出来るということがとても印象に残りました。
- 同じ境遇の保護者同士で交流を深められた事がとても良かったです！
- 久しぶりに講習等受け、いくつになっても学習する姿勢の大切さを感じました。

月例会に参加する前と後で、SDGsの見方について意識面で変わったことは？

- SDGsは大規模なことではなく、身近な小さなことからできると感じました。
- 子どもから繋がる先の世代へ綺麗で住みよい地球を残すことが大人の責任だと痛感しました。効率ばかりを重視せず、未来を見据えた正しい小さな選択ができるよう日々を過ごしていきたいと思いました。
- 普段の生活の中で、SDGsに貢献している企業を探したり手前取りや水や電気の無駄遣いを無くす努力をしたり、食べるかも？で取っておいた食品をフードバンクに寄付したりとできることを自然と探すようになりました。

講師の郭先生へのメッセージをお願いします。

- 先生の講義はとても楽しくてあっという間でした。楽しく学ばせていただき、ありがとうございました！
- 4ヶ月間ありがとうございました。良かった点は、SDGsに知見のない生徒かつ、限られた時間の中で、先生のテンポのいい進行を間近に見られた事です。
- 毎回、郭先生のお話に引き込まれ楽しく学ばせていただきました。そして、学ぶことは楽しいと再確認いたしました。私も学びを止めないよう過ごしたいと思います。
- 私個人の人生において決してお会い出来ることの無い素晴らしい先生のお話を聞ける機会をいただいて心から感謝をしております。
- 最後の講義で、知らないことの恐ろしさ・知ることの大切さという言葉が印象深く、子どもにも伝えたいと思います。

来年度の家庭教育推進員へのメッセージ

- 私の様に何も知らなくてもご心配なさらず安心してご参加いただきたいです。きっと素敵なお時間になりますこと間違い無しです！
- 学ぶ内容も自分達の為になりますし、月例会の時に未就学児の保育もありましたので、気負わず楽しんでください。
- Pゼミを通して他校の方ともお話出来、共に同じ目標に向かって何かをする機会を徐々に味わうことが出来ます。
- とにかく楽しいので、積極的に参加してほしいです！

「こんな支援があると嬉しい、やりやすい」など、運営へのご提案

- 職員の方が回って来て相談や提案をくださったので、話し合いもスムーズにまとまり助かりました。
- 準備時間をもう少し授業内で確保していただけると助かります。
- 3年毎にテーマが変わると思いますが、学校の不満等を聞いて豊島区の子供達のより良い教育環境にするということも考えてほしいです。
- 資料の印刷やラミネートなど、サポートありがとうございました。班メンバーとはラインでやり取りができたので、お休みの方がいらっしゃっても連絡を取り合えました。
- 最終回は冬休み前が良かったです。

「その他お気づきの点やご意見等」

- 4か月本当に楽しくとても有意義なお時間をいただき家庭教育推進員の一員になれて本当に良かったと思っています。あっという間に終わってしまったという印象です。寂しいです！
- 所属したグループの人数によっては、出席した際の一人一人の負担が大きいように感じました。
- 保護者でも様々な考えがあるため、「保護者で話し合いながら活動する」というスタイルは、個人を尊重する昨今では難しいような気がしました。
- 短い期間でしたがとても充実した楽しい時間でした。ご丁寧に事務局が対応してくださり、ありがとうございました。
- PTA 活動の一環の枠を超えているような気がしたので、もっと活動報告をアピールしたい。

編集後記

お忙しい中、4か月、活動いただきありがとうございました。短期集中ということで駆け足で進み、準備など事務局として行き届かない部分もありましたが、皆さんの熱意とご協力のおかげで、素晴らしい学習発表会となりました。今年度のPゼミの皆さんは、ご自身が楽しんで、班の仲間で団結して取り組んでらっしゃる様子がとても印象的でした。

学習発表会后、皆さんの通う小学校から、学習発表会の資料や作品を展示したいという依頼や、自発的に学童クラブに出向き、作品を紹介・寄贈してくださったメンバーもいらっしゃいました。皆さんの学びの成果が多くの方に伝わったと思っております。

この先も皆さんの学びが続き、学びあった成果を家庭や学校、地域も巻き込んで、周りの多くの人々に伝えていただくことで、まちを見る視点が良い方向に変化し、住みやすいまちにつながっていくことを願っています。

